

街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる
株式会社Luup 概要ご説明



LUUP

株式会社 Luupについて

Luupは、

“街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる”を

ミッションに、電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティの
シェアリング事業を展開しています。

利用者の交通アクセスを向上させるだけでなく、
不動産オーナーをはじめとする街の皆様とともに、

「ポート」を起点とした不動産価値の再定義に取り組み、
持続可能な街づくりに貢献していきます。



2018年に創業して以来、ミッション実現に向け 電動マイクロモビリティのシェアリングサービスを提供しております。

会社概要

会社名 : 株式会社Luup (ループ)

本社 : 東京都品川区西五反田八丁目9番5号
FORECAST五反田WEST 7階

代表者 : 岡井 大輝

創業年月 : 2018年7月

資金調達額 : 約127億円 (2023年11月時点)

事業内容 : 電動マイクロモビリティのシェアリング
サービスLUUP (ループ) の提供

株主 (一部抜粋)



LUUPは、**電動×小型×一人乗り**のマイクロモビリティの
移動インフラを提供します。

将来的には**全世代が安心・安全に使える**モビリティを
開発していきます。



電動アシスト自転車



電動キックボード

New



電動シートボード ※



未来の電動マイクロモビリティイメージ

提供サービス

街じゅうに設置された「ポート」を起点に
アプリひとつで好きな場所で乗り降りできる、
電動マイクロモビリティのシェアリングサービス

ポート数国内

No.1^{※1}

アプリDL数

450 万以上

サービス認知度

91.5%^{※2}

利用料金（京都エリア）

基本料金 50 円 + 時間課金 15 円/分



※1 2024年7月におけるマイクロモビリティシェアリング事業者等による全国のポート数に関する公表情報、公開情報と比較。

※2 東京都在住の20～50代を対象とした認知度調査（2024年5月 調査委託先：アイブリッジ株式会社）

サービス開始から約4年で
全国のポート数は
14,000 箇所を突破し、
国内No.1へ成長※1

展開都市

東京・大阪・京都・名古屋・仙台・宇都宮・
横浜・神戸・広島・福岡・北九州・浜松
全国12都市に展開中（2025年6月現在）

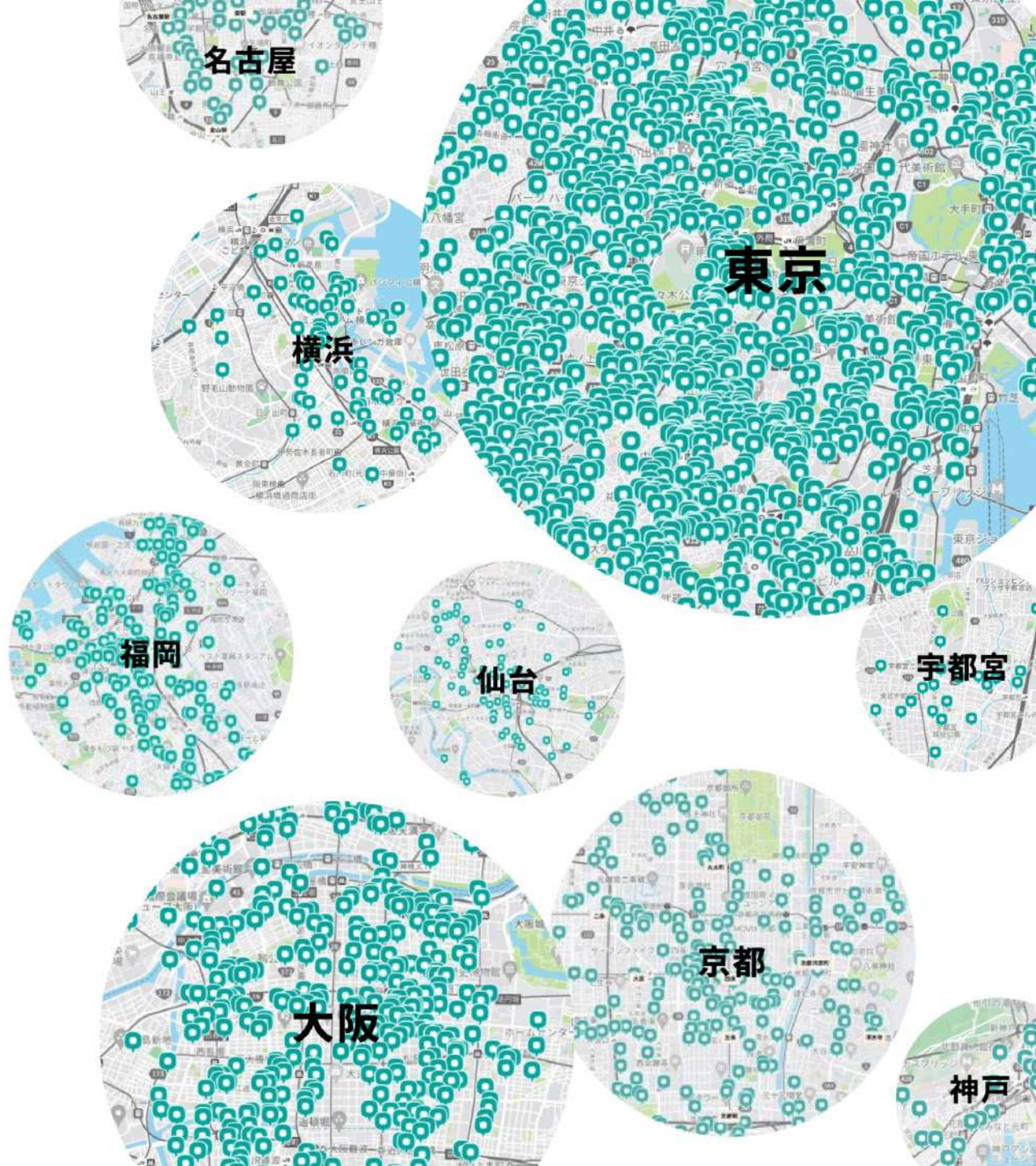
その他の展開エリア（LUUP for Community※2）

観光地やホテルを中心に、北海道～沖縄まで
全国24エリアでの展開実績※3

※1 2024年7月におけるマイクロモビリティシェアリング事業者等による全国のポート数に関する公表情報、公開情報と比較。

※2 主要エリアと異なる、自治体・企業・団体に「LUUP」の地域導入・運営をしていただく有償プラン。

※3 サービス運営が終了したエリアを含む、2024年9月時点での累計実績。



京都市内ポート数

1,200 箇所 以上

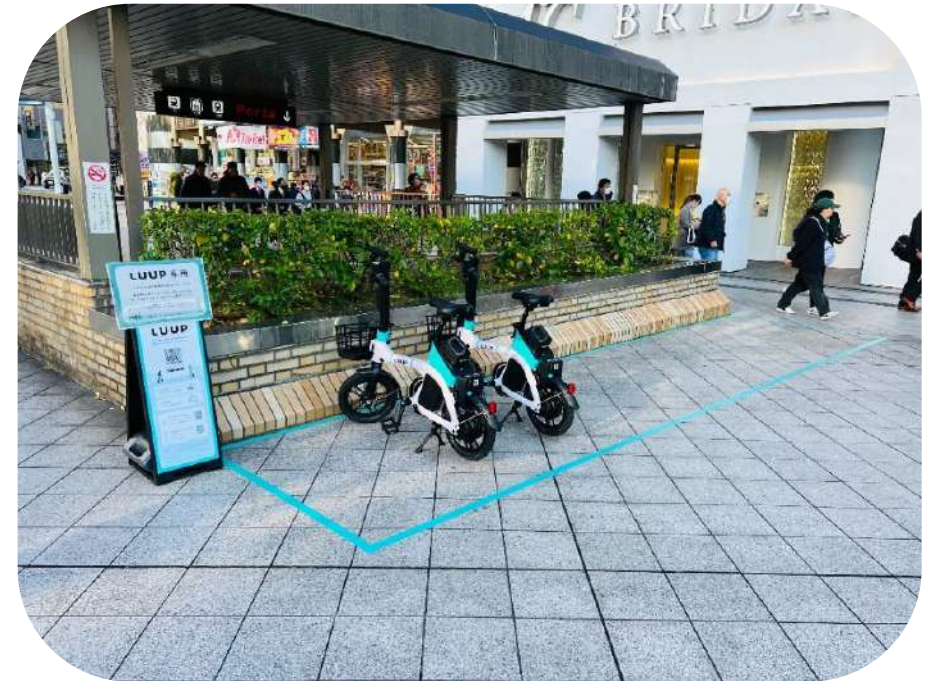
公共交通機関で行きにくいエリアの移動に活用
オーバーツーリズム対策としても活用

展開エリア

京都市内

南北：北山～中書島

東西：天神川～白川（及び東山方面）





京阪三条駅



京阪出町柳駅



ファミリーマート



イオンモール

導入事例



京都駅北口広場



京都市役所



祇園会館



金閣寺



ヨドバシカメラ



京都中央信用金庫



フォションホテル京都



東福寺



ミーナ京都



京都信用金庫

京都市内での主な協定締結企業

京都市及び主要電鉄企業さまとも連携を締結し、公共交通として市内の移動利便性に貢献します

2023年1月 **京都市**

京都市内 18箇所の公有地を活用

市民等の移動の利便性向上を図る手段として

京都市とLuupが連携協定を締結し、
シェアサイクルの利用・普及促進に向けた
公有地活用を開始



LUUP

2024年6月 **JR西日本**

京都市内 8駅へのポート設置

ポートの導入とデータ活用によって、
沿線エリアの発展と利便性の向上を進める



ポート導入エリアを拡大し
沿線まちづくりに
向けた
取り組みを開始



2024年9月 **京阪電気鉄道**

京都市内 11駅へのポート設置

包括的業務提携契約により
駅前だけでなく、沿線全体の賑わいを創出する



街の美観を守る設計／システム

世界唯一の「返却枠の事前予約必須化」



制限台数以上に返却予約ができないため、

車両が溢れません

仕組み：利用終了後の**返却枠を予約必須化**

「利用終了後の写真撮影必須化」



無人駐輪場ゆえの**乱雑な駐輪を防止**するために、

ポート駐輪写真提出の必須とし、

仕組み：写真提出完了後の決済

ポートの設置・維持管理、 その後のオーナー様・ユーザーサポートも全てLUUPにて行います。

ポート設置～維持管理

- ポート設置作業
- バッテリー交換
- 車両の整備
- ポートテープの張り替え
- ポート撤去作業

オーナーサポート

土地オーナー様・管理会社様の専用窓口を開設。
日本の不動産知識のある専門チームが、
ポート導入後のサポートを行います。



カスタマーサポート

受付時間

24時間 年中無休

年間対応実績

10万件以上

お客様満足度

90%以上

年間問い合わせ件数が10万件を超える中、
24時間受付および高いお客様満足度を実現。
導入したポートを安心してご利用いただけます。

導入メリット

集合住宅の入居率・ 利用者向けサービスの向上

LUUPポートが物件に導入されることで、
部屋探して許容できる駅からの徒歩距離が伸び、
駅から遠い物件でも空室対策に貢献。
また、立地に関わらず、自転車を所有していない
入居者にも人気の設備となります。



「選ばれる管理会社」へ！物件価値向上と ”利用者ファースト”の実現にLUUPを活用

「きっかけは学生の街・京都ならではの住居問題へのアプローチでした。
LUUP導入により、**管理の手間をかけず**に「退去者の残置自転車の削減」、
「駅から距離のある物件の入居率&利便性向上」を同時に実現でき、
LUUPの存在が”選ばれる物件・管理会社”をつくる一手になると確信しています。」

店舗・施設への集客

ポートが移動の起点となることで、

LUUP利用者が移動のついでに店舗や施設に

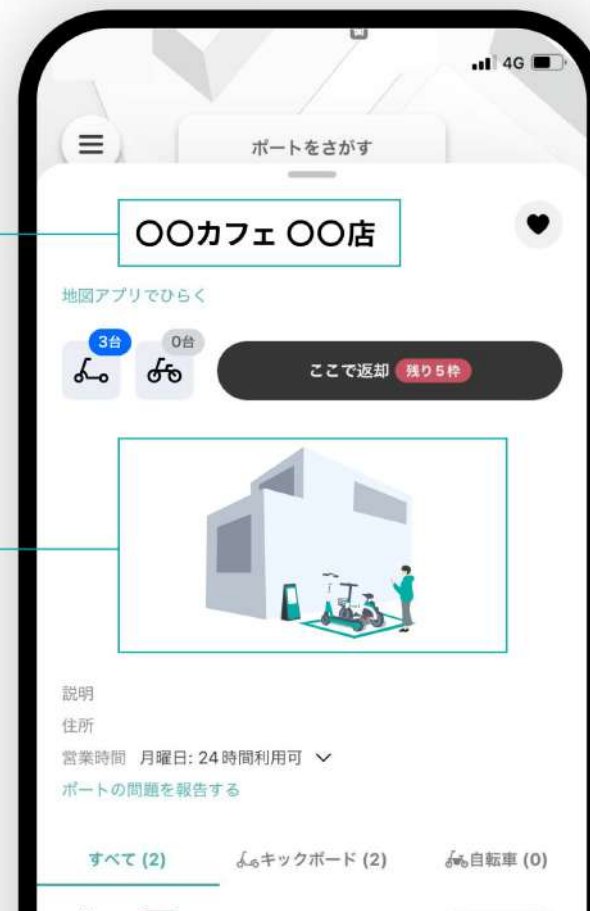
足を運ぶ機会が増えます。

また、アプリ上に店名や写真が掲載されるため、

認知度向上の施策としてもご活用いただけます。

店名を掲載

写真を掲載



株式会社アスロニア
小谷 様

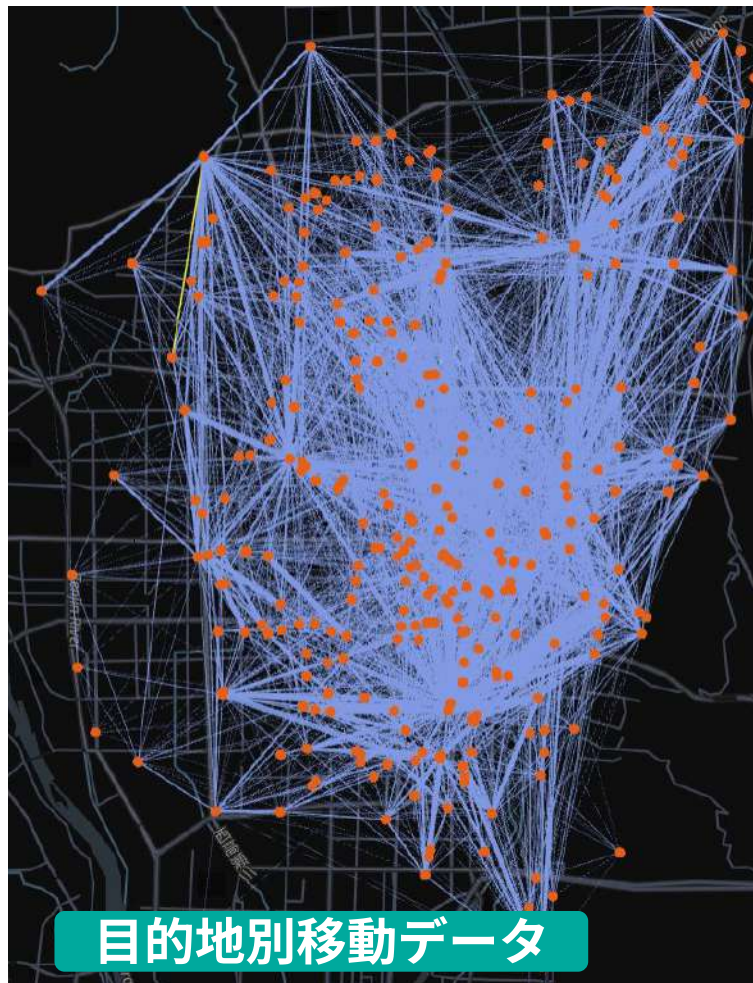
LUUPポート導入後、 毎月10%ずつカフェの売上が増加

「以前はカフェの告知もSNSで発信する程度で、知名度があまり高くありませんでしたが、

LUUPポート導入後、LUUPユーザーの来店が増え、

カフェの売り上げは毎月前月比で10%ずつ増えています。」

移動データを活用することで、 様々な課題解決にお使いいただけます。



データの収集とその活用について

- ・利用者の属性データ
(年代、男女比率、乗車数、乗車時間、利用時間など)
- ・利用ポートや区間データ、移動の軌跡等の詳細な移動データ
- ・利用中に一時停止が多いエリアの算出
(店舗などへの立ち寄りが多いエリア)

【活用例】

- ・街づくり施策や交通計画の策定への活用
- ・来街者への誘致施策や回遊性向上のための導線分析
- ・災害対策としての施策検討 等

違法駐輪対策および 美観向上

空きスペースをLUUPポートとして固定化することで、
違法駐輪や路上喫煙といった課題を解決します。

また、スタイリッシュなLUUPの車両を設置する
ことで、物件の美観向上にも貢献します。

Before

SACRAビル(富小路三条)



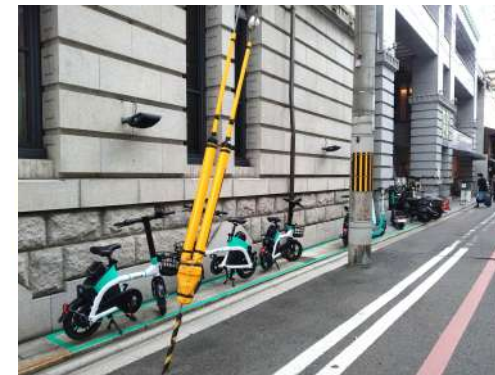
マンション



天満駅



After



違法駐輪対策を目的に導入いただいた事例（四条周辺）

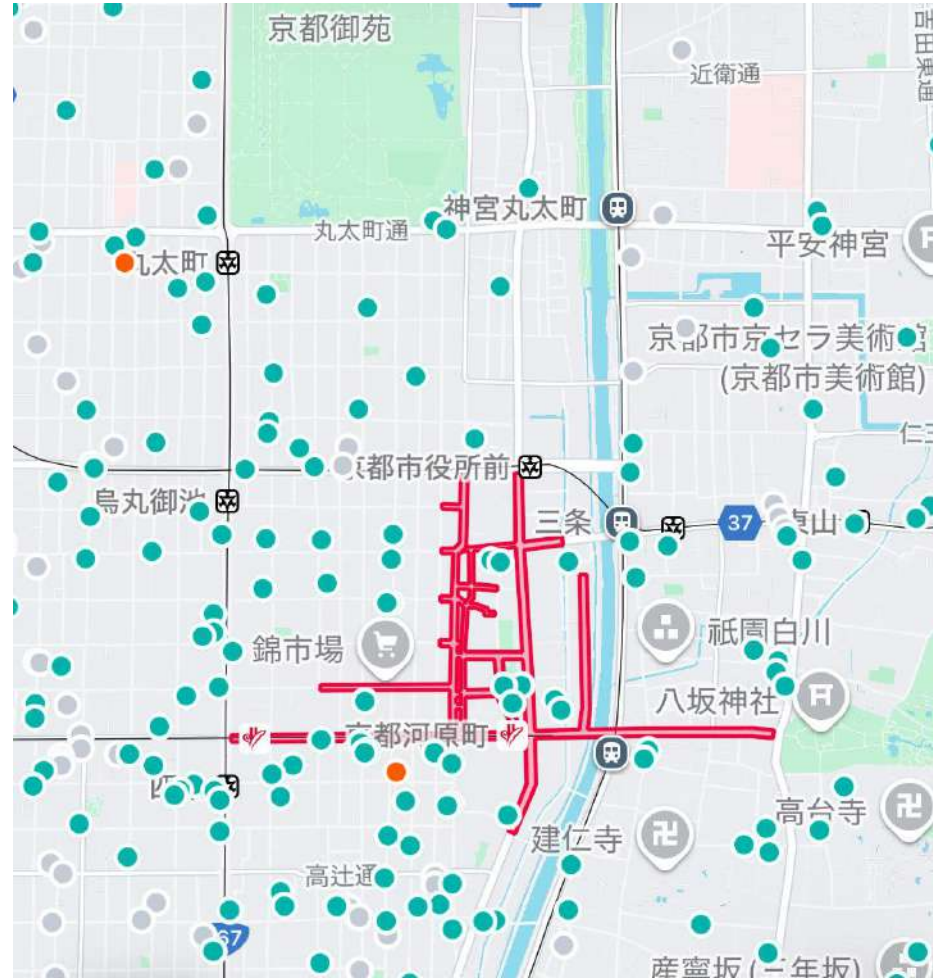
松井旅館



第15長谷ビル



河原町OPA



祇園会館



ミーナ京都



EXIT祇園



交通ルールにつきまして

2023年7月の法改正により ”ほぼ自転車と同じように”ご利用いただけます

電動アシスト自転車



特定小型原動機付自転車



01 免許	不要	
02 ヘルメット着用	努力義務	
03 右折方法	二段階右折	
04 年齢	制限なし	16歳以上
05 歩道走行	やむを得ない場合のみ走行可	歩道走行モード搭載 (6km/h) の場合のみ、 特定の標識が設置された歩道の走行可

交通安全の取り組みについて

Luupはすべての皆様にとって安心・安全なインフラとなるために、
下記の**安全対策 3つの方針**を徹底してまいります。

1

利用者に対する 交通安全教育・啓発

- ・ 交通ルールテスト再受験
- ・ マナー啓発活動
- ・ 啓発物の設置
- ・ **利用者へのDM送付** 等

2

危険利用者への 厳しい対処

- ・ 警察捜査への協力
- ・ 交通違反点数制度
- ・ **走行禁止エリアへの進入検知**
(LUDAS) 等

3

車両・サービスの 安全性向上

- ・ 車両改善
- ・ ナビ機能
- ・ **誤進入防止サポート** 等

1.利用者に対する 交通安全教育・啓発

これまでLuupが実施してきた取り組み

教育施策

啓発施策

オンライン

交通ルールテスト 合格の義務化



アプリ内 学習コンテンツの拡充



アプリや交通ルールテスト 英語対応



警察と連動した飲酒運転等 アプリ内注意喚起



SNSやオウンドメディアを 通した啓発コンテンツ発信



オフライン

安全講習会の開催



東京海上と共同制作 ご利用ガイドブック 配布・Web公開



全国交通安全運動へ参加 OOH広告の掲出



繁華街付近ポート 深夜帯の警備員配備



交通ルールテストの内容強化・再テスト実施



利用者の交通ルールへの理解を
より深いものとするために、
交通ルールテストの内容をより強化します。

交通ルールテストの内容変更に伴い、
全登録ユーザーを対象に新しい内容で
再テストを実施します。

期限までに新しいテストに合格しないと、
電動キックボードを利用できなくなります。

訪日外国人の方々にも対応いただいております。

テスト内容詳細

テスト内容強化（重要な変更点）

	現行	新テスト
設問数	11 問	14 問
出題順	固定	毎回ランダム表示
開始日	—	2025年5月1日（予定）

- ・ 一時停止や信号等、いくつかの出題内容を追加
- ・ 出題順のランダム化の目的は、不正行為を防止し、テストの妥当性を高めるため
- ・ また、交通ルールを正しく理解していただくため、全設問にイラストを挿入しルールをわかりやすく解説するほか、間違えた設問を重点的におさらいできるように、テストの設計を変更

再テストの実施

- ・ 新テストの開始に合わせて、既に以前の交通ルールテストに合格している利用者も、5月1日以降、新テストを受験可能となります
- ・ また、6月1日以降、全ての利用者は新テストに合格しない限り、電動キックボードを利用できなくなります
- ・ 既に以前の交通ルールテストに合格している利用者の方々にも、5月中に再テストを受験いただくよう、アプリ内告知やメール等により、再テストの周知・促進を進めてまいります



画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

オフラインによるマナー啓発活動の強化

出町柳駅にて啓発活動（2025年7月22日）

- 左京区主催の自転車マナー啓発活動に府警と共にLuupも参加予定です
- 場所：京阪出町柳駅



三条駅にて啓発活動（2025年9月予定）

- 京都府警主催の自転車マナー啓発活動にLuupも参加予定です
- 場所：京阪三条駅



他の地域でも是非実施させていただきたく考えております。

京都府警と連携し啓発物の設置

過去設置の啓発物事例

- 「春の全国交通安全運動」に合わせ、安全利用と交通ルール遵守の徹底を促す啓発活動を実施
- SHIBUYA109渋谷店 店頭イベントスペースに、啓発広告「ルールやマナーを守れない方は、LUUPにも乗らないでください。」を掲出
- 「#ShareSafety」のメッセージのもと、電動キックボードおよび電動アシスト自転車の正しい交通ルールを改めて周知し、理解を促すための取り組み
- LUUPのポートに設置されている看板に、人気イラストレーター高橋あゆみさんのイラストが描かれた安全啓発ポスターを掲示
- 東京・大阪・京都・横浜で50箇所



直近半年間に京都市内で利用したユーザーに対して一斉DM送付

DM内容イメージ

- アプリ登録されているメールアドレスに対して、DMを送付いたします。（右図参考）
- 京都市内独自のルールを理解していただくよう、市のサイクルサイトの案内を添付いたします（下図参考）



京都市サイクルサイトより
https://kyoto-bicycle.com/share_cycle

【重要:再受験のお願い】 5/1(木) より交通ルールテストが新しくなります | LUUP

LUUP <no-reply@luup.co.jp>
 To 自分

4月24日(木) 12:03

日本語に翻訳

新しい交通
 ルールテストが
 始まります

LUUP



いつもLUUPをご利用いただき、誠にありがとうございます。

※このメールは、2025年4月22日時点で、過去1年の間にLUUPの電動キックボードをご利用されたことがある方にお送りしております。

【交通ルールテスト再受験のお願いについて】

多くの利用者の皆さまにとって交通ルールテストが重要な学習機会となっていることを受け、学習効果をさらに高めるために、この度テストの内容を刷新いたしました。テストの内容変更に伴い、これまで電動キックボードをご利用されていた皆さまも新しいテストを再受験いただくようお願いいたします。お手数をおかけいたしますが、皆様に安全・安心にご利用いただくため、ご理解とご協力をお願いいたします。

2.危険利用者への 厳しい対処

これまでLuupが実施してきた取り組み①

警察捜査への協力

警察からの交通違反や事故に関する照会に対して、全面的に協力し、情報提供を行っています。

- 交通違反の書類送致のために必要な情報提供はもちろんのこと、進行中の交通事故捜査のための情報提供も行っています
- 提供する情報は、氏名・生年月日・連絡先のほか、位置情報を含む利用履歴も含まれます

交通違反点数制度

電動キックボードの利用者による交通違反を減らし、厳しく対応するため、違反走行に対して罰則を課す制度「交通違反点数制度」を、2024年より展開しています。

- 取締られた交通違反に対して違反点数を加算し、一定の点数に達するとアカウントが30日間凍結され、利用者はLUUPの電動キックボードを利用できなくなる
- 飲酒運転やひき逃げ・当て逃げなど、一部の重大な違反に関しては、一度の取締りで無期限凍結となる



これまでLuupが実施してきた取り組み②

京都市の交通規制を反映して「自転車手押しゾーン」を設定し、マップ上に表示。Luup独自の取り組みです。



自転車通行規制エリアの
走行時には、ルール周知のた
めにアプリ上でポップアップを
表示



LUUP危険行動検知システム「LUDAS」に基づく新制度 警告・ペナルティ制度を 2025年 4月下旬から開始

LUDASとは？

LUDAS（LUUP Dangerous-Activity Detection Systems）とは、LUUP利用者の危険な行動を検知するためにLuupが構築・運用するシステムの総称のことです。危険利用者に対してさらに厳正な対応を行うため、今回新たな施策として導入いたします。これに基づく警告・ペナルティ制度を4月下旬より開始いたします。

LUDASの導入で実現できること

LUDASに基づく警告・ペナルティ制度の導入により、警察の取締りによらず**交通違反や危険行為をLuup独自に検知し**、再発防止のために警告したり、ペナルティを科したりすることができるようになります。

「LUDAS」の現在の検知対象

公園・広場等の走行

- 公園や広場など道路以外の広い空間での走行が対象
- 代々木公園など、東京都内2箇所から開始し、順次追加予定



代々木公園内の走行の検知イメージ

通行禁止道路の走行

- 法令等で通行が禁止された道路の走行が対象
- 新宿御苑トンネルなど、東京都内の6箇所から開始し、順次追加予定



新宿御苑トンネルの走行の検知イメージ

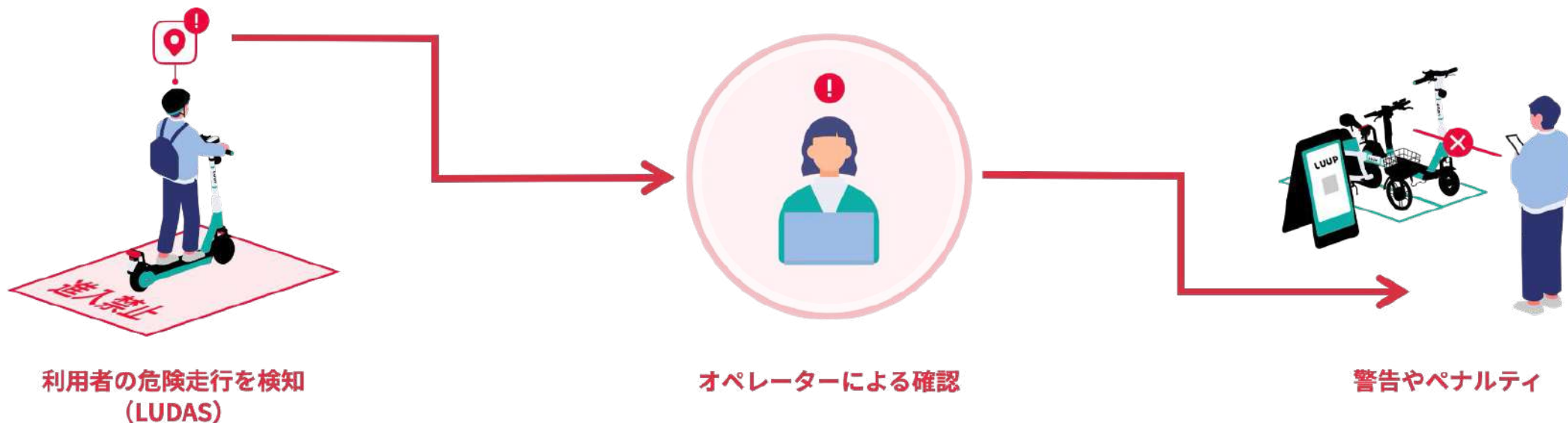
大通りの逆走・逆側歩道走行

- 現状の測位精度で推定可能な大通りでの逆走または逆側歩道走行が対象
- 山手通りの一部区間など、東京都内 8箇所から開始し、順次追加予定



富ヶ谷交差点付近の走行の検知イメージ

「LUDAS」に基づく警告・ペナルティ制度のフロー



- 公園・広場等の走行（2箇所）
- 通行禁止道路の走行（6箇所）
- 大通りの逆走・逆側歩道走行（8箇所）

※上記箇所数は4月時点のものです

- 検知情報が届いたら、オペレーターが確認
- オペレーターが、危険走行を検知した時刻前後の移動軌跡などの他の情報も加味して、警告・ペナルティを科すかを判断

- 警告：アプリ内やメールで具体的な警告を表示
- ペナルティ：利用停止措置等を実行

御池通りにて車道逆走検知のLUDAS設定を行いました

大通りの逆走検知について

- 御池通りの場合は
車道の逆走及び逆側歩道走行が違反の対象です

順行の場合も違反对象となる
四条通・河原町通につきましても
順次対応の準備を進めております



3.車両・サービスの 安全性向上

これまで実施してきた取り組み

車両の安全性



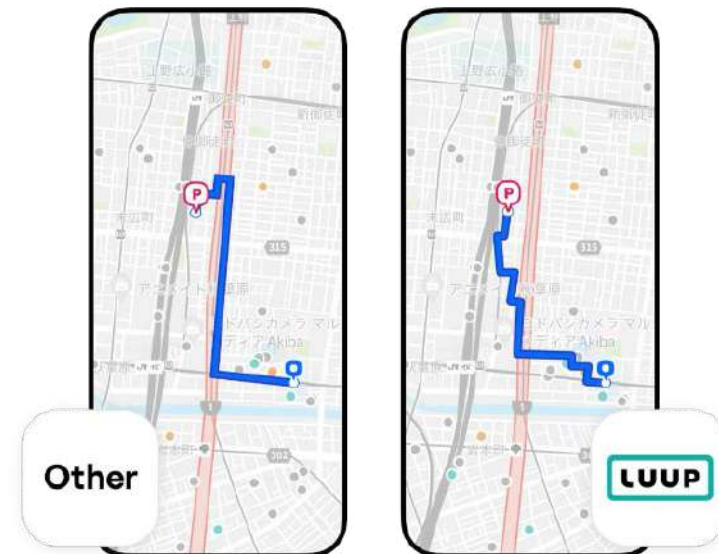
- 車両のアップデートは過去に14回以上
- 日々LUUPのスタッフが巡回し、メンテナンスを実施

年齢確認



- 16歳以上であることを証明する年齢確認書類をアプリ内で提出
- 運転免許証、パスポート、在留カード、マイナンバーカードに対応

ナビ機能



- ライド時に推奨ルートを表示する実証実験を実施中
- マイクロモビリティのシェアリングサービスにおけるナビ機能の実装は日本初（※Luup調べ）

新施策・誤進入防止サポート機能



画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

進入してはいけない危険な場所を ライド前とライド中にお知らせします

- 進入してはいけない危険な場所を、ライド前にお知らせします
- また、ライド中の画面上でも、進入してはいけない場所がマップ上に表示されます
- 対象となる場所は、都内の一部の公園と通行禁止道路、および高速道路の出入口です
- 6月中に機能リリース予定で、順次対象となる場所を増やしていきます
- この新機能で、進入してはいけない危険な場所に意図せずに進入してしまうケースを減らし、利用者と周辺の皆様の安全をサポートします

京都市内につきましては
現在、パートナー企業と調整を行っております

2025年3月25日

メディア向け説明会について

安全対策強化に関するメディア様向け説明会を開催（2025年3月25日）

実施概要

Luupは創業からの沿革と現在の課題の共有とともに、今後に向けた新たな安全対策をメディア様向けに発表・質疑応答を行いました。現在の課題として、ポート設置基準の見直しや、危険運転への対策を行う旨を説明。また以下3つの方針に基づく新たな安全対策によりLUUP利用者による交通事故防止を徹底することを発表。説明会にはTV・新聞・通信社・Webなど計20媒体が参加しました。

新たな安全対策 3つの方針

1. 利用者に対する交通安全教育・啓発
2. 危険利用者への厳しい対処
3. 車両・サービスの安全性向上

▼ 説明会時の様子（代表取締役CEO岡井、取締役COO牧田、取締役CFO向山が登壇）



今後も安心・安全に向けた取り組みについて、定期的にこのようなご説明の場を設けてまいります。

ご参加メディア様からいただいたお声と、掲載/放映実績一例

安全・安心への取り組みに対する評価のお声を数多くいただきました。

ご参加メディア様からのお声

- ・説明会を取り上げた記事がランキング上位に。若い世代にも広く届き、人々のサービスへの関心の高さが伺えた。
- ・現状の課題を認め、ポートコンプライアンスについての現状や対策への回答を伺えた点を評価している。
- ・全ての質問に回答し切る質疑応答をはじめ、全体を通しての丁寧な対応から、変化に対する本気の姿勢を感じて好感を抱いた。
- ・安全への強い想いや覚悟の伝わる内容だった。新車両や今後の展開についても期待ができる。
- ・技術を活用した課題解決はまさにメディアとしても今後注目していきたい部分でした。

掲載/放映実績一例



07 NEWS NNN



BUSINESS JOURNAL

Luupの対策公表は評価すべき…電動二輪車シェアが社会の必需品になる日

2025.03.27 企業

自転車 電動キックボード 電動二輪車シェアリングサービス Luup Share+



NEWS PICKS



2025/3/26

【3分解説】批判続出のLuupが、「安全対策」に込めた狙い

補足



今後も便利で安全な京都のまちを創っていくべく
不断の努力を継続してまいります

LUUP



機密・専有情報：株式会社Luupによる個別の明示的な承諾を得ることなく、この資料を使用することを固く禁じます。